

## 当院、外来採血室における最近の取り組みについて

～ 個人のスキルアップからチームのレベルアップへ ～

◎今田 龍市<sup>1)</sup>、浦田 幸子<sup>1)</sup>、垣屋 明子<sup>1)</sup>、最所 このみ<sup>1)</sup>、永尾 佳耶<sup>1)</sup>、田端 栞<sup>1)</sup>、岡崎 佑美<sup>1)</sup>、西浦 明彦<sup>1)</sup>  
医療法人創起会 くまもと森都総合病院<sup>1)</sup>

【はじめに】当院の外来採血室は、臨床検査科を中心に日々、採血業務を実施している。総合病院としては全国的にも珍しい運用管理形態と言える。我々の意見がより反映しやすい環境ではあるが、採血は患者に針を穿刺し痛みを伴う侵襲性のある医療行為であるため責任も重大である。今回は、採血室の主な取り組みについて報告する。

【主な取り組み】1. 早朝採血（AM8：00～8：30）・・・9：00からの診察の方が対象で1日8名を上限に予約制を導入。2. VVR（血管迷走神経反応）・・・気分不良時の対応マニュアル改訂及びビデオ作成。勉強会やシミュレーションの実施。3. 採血時の検査内容説明・・・採血管毎の検査内容及び血液採取量などについて。

【効果】1. 検査科のスタッフ全員（新採用も含む）がローテーションで対応することにより、9時の診察への結果報告が可能。また、早朝採血予約制導入により、採血患者数を制限することで、外来看護師の応援も不要となった。2. マニュアル、ビデオ教育により採血室スタッフ

のみで迅速かつ適切な対応が可能になった。更に患者情報を記録表に記入することで臨床への正確な情報提供が可能となった。3. 採血をしながら簡単な検査内容や採血量などを説明することで患者の不安軽減にも繋がっていると考えられる。

【結語】早朝採血予約制導入を機に、スタッフ全員が採血できる体制を構築し維持している。これは検査科全体としてのレベルアップに繋がったと自負している。

VVR（血管迷走神経反応）については、スタッフの教育により患者の安全確保および看護師の業務軽減等にも貢献している。採血という短い行為の中でも、簡単な説明を行うことは患者サービス向上に繋がっている。それでも未だ解決すべく課題は残っており、模索検討中である。しかしながら、患者の気持ちに寄り添って行う採血こそが診療への第1歩であると日々感じている。

連絡先：096-364-6000（PHS-6127）